



愛されて...40年

今年で創立40周年、芦屋を中心に活動する混声合唱団です。幼い頃から合唱を続けているベテランも、音楽に全く縁の無かった初心者も、10代から70代までの男女約35名が、お互いの個性を尊重しながら、共に音楽を楽しんでいます。

活動は1977（昭和52）年の合唱団創立以来、欠かさず開催してきた年1回の定期演奏会のほか、合唱イベント「コーラスめっせ」や兵庫県・芦屋市等の合唱祭への参加、クリスマスコンサートの開催など様々。また、演出・演技等を伴った「シアターピース」とよばれる合唱劇の上演や、世界各地のユニークな民族音楽の演奏、オーケストラとの共演など、ジャンルに縛られることなく、多種多様な音楽に積極的なチャレンジを続けています。

さらに、千原英喜さん、谷岡千代さん、北川昇さん、青島広志さん、石黒晶さん、丸尾喜久子さんなど、多くの作曲家に新曲を委嘱、初演するなど、新しい合唱曲の制作にも力を注いでいる飛びきり明るくてにぎやかな混声合唱団です。

♪作曲家からのmessage



作曲家:千原 英喜
Hideki CHIHARA

<『桃・麦・あなた』について>

作曲では大いに悩み、大いに楽しみました。「生きましようよ／向かいあいのあなたとわたし…」こういうフレーズは難しいなあ。湿っぽくなくてもいけないし、カラッとフツにメロディーしてハモっただけでは作曲者の人生薄っぺら、と云われてしまいますものね。結局2ヴァージョン書いて一つは反故にしました（ちなみに捨てた曲の伴奏部は「ブローニュの森のそよ風とキノコ採り」というピアノ曲になりました）。中間部はジャズ発祥の地・神戸を思ってちょっとジャジーなテイストです。天野さんとピアニストとボイスフィールドの皆さんのお洒落な演奏に期待しています。

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程修了。入賞は日本音楽コンクール、トリエステ・コンコルソ、ドレスデン・ウェーバー・コンクールなど。①日本の古典や伝統芸能・民謡を素材とする曲、②東西の文化伝統の混淆の音楽、③歌謡曲演歌に通じる歌、④クラシック・トランスクリプション、以上①～④の観点（人呼んで「千原ワールド」）から創作活動をおこなっている。

芦屋・神戸で歌い続けて40年となる節目の今年、40周年記念として千原英喜先生に新曲をお願いしたところ、神戸出身の詩人、竹中郁の詩「桃・麦・あなた」に素敵な音楽をつけて下さいました。中間部の6/8拍子は穏やかで愛すべき港町の雰囲気。神戸の港を旅立つ客船や、粋な船乗りの姿が目に見えます。

さて、今年はボイスフィールド生誕の地である芦屋での演奏会開催にちなみ、地元ゆかりの曲を集めてみました。西宮が舞台の「ラララ 赤い花束 車に積んで～「春の唄」、神戸出身の作曲家 大澤壽人（1906～1953）のかわいいホームソング、芦屋で育った作曲家で指揮者 貴志康一（1909～1937）の知る人ぞ知る名曲など色とりどり。私たちのすぐ身近で、こんな素敵な曲たちが生まれていたのですね。

また、2007年にボイスフィールドが谷岡千代先生に委嘱・初演した、軽やかでユーモア溢れる「寿限無」「春ルラル」のほか、合唱の先進国と言われる北欧ノルウェーやデンマークで生まれた、キラリッとセンス輝くサウンドもお楽しみいただけますよ！皆さまのご来場を、メンバー一同心よりお待ちしております。

♪指揮者からのmessage



指揮者:天野 裕介
Hiroyuki AMANO

合唱団ボイスフィールド メンバーいつでも募集中

練習日:毎週日曜日 18:00～20:30

会場:芦屋市立青少年センター 音楽室、西宮市立鳴尾公民館など

団費:一ヶ月1500円(学生500円)

練習場や時間は変わることがあります。お問い合わせください

090-8209-0232(なかむら), info30@voice.gr.jp



The Voicefield Chorus 40th Annual Concert/2017.8.20/Ashiya LUNA hall

第四十回合唱団ボイスフィールド定期演奏会